

改訂エジプト国別援助計画（第二次案）の構成

1. 最近の政治・経済・社会情勢
 - (1) 政治情勢
 - (2) 経済情勢（経済構造問題、最近の経済状況）
 - (3) 社会情勢

2. 開発上の課題
 - (1) エジプトの開発計画
 - (2) 開発上の主要課題
 - (3) 主要国際機関、他の援助国、NGOの取組

3. 我が国の対エジプト援助政策
 - (1) 対エジプト援助の意義
 - (2) 我が国のこれまでの援助
 - (3) 我が国援助の目指すべき方向
 - (4) 重点分野・課題別援助方針
 - (イ) 持続的成長と雇用創出の実現
 - 投資・ビジネス環境の整備
 - 輸出振興・国内産業の育成
 - 技能労働者の育成
 - 観光の振興
 - 環境の改善
 - (ロ) 貧困削減・生活の質の向上
 - 保健医療・基礎教育の充実
 - 社会基盤の整備
 - 農業生産の拡大
 - 社会福祉の向上
 - (ハ) 地域安定化の促進
 - アラブ諸国の人材育成
 - アブサハラ諸国の人材育成
 - (5) 援助効果増大のための方途

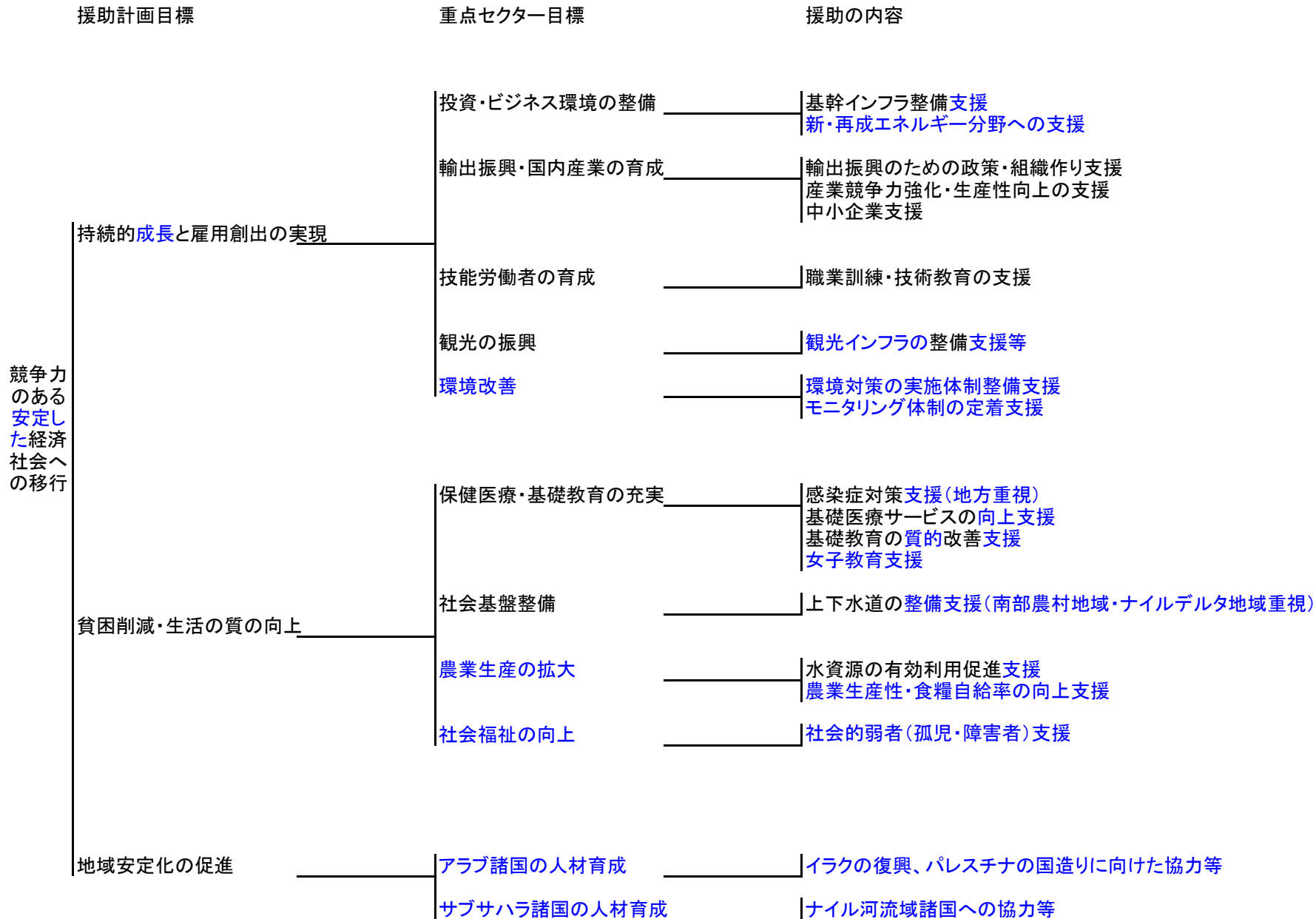
対エジプト援助の意義

- ODAの戦略的活用の観点から対エジプト援助の重視が求められている。
- エジプトは地政学的な要衝に位置し、中東・アフリカ地域に大きな影響力を有し、同地域の平和と安定に向けて重要な役割を果たしている。
- 中東地域は世界の主要なエネルギー供給地域であり、この地域の平和と安定の確保は、我が国を含む国際社会全体の安全と繁栄に直結する問題。
- 我が国は同地域における主要な問題の解決に積極的に取り組んできており、エジプトは、こうした我が国の取組における城内の中核的なパートナーと位置付けられる（イラク再建、中東和平、リビアの国際社会への復帰、スーダンの平和構築等において、エジプトは建設的な役割を果たしている）。
- テロの国際化が深化している今日、中東の安定は、当該地域を越えて、世界の安全保障にも直接・間接の影響を及ぼし得る。中東の安定の維持・向上のため、G8シーアイランド・サミットでは中東の改革支援の重要性が合意された。エジプトは現在改革に取り組んでおり、これを支援することは、エジプトの地域における主要な地位にかんがみ、とりわけ重要。
- エジプトは石油輸出国であるが、近年ではヨルダン及びヨーロッパ向けLNG輸出を開始。エジプトが政治的な影響力に加えて経済力も備え、域内における影響力のある安定勢力であり続けることは、中東・アフリカ諸国の平和と発展に大いに寄与する。
- エジプトは、社会経済開発が依然として遅れている面もあることから、こうした方面における自助努力に対する国際社会からの援助を必要としている。国民一人当たりのGDPは1,622ドル（2003年）であるが、人口の4割を超える国民が一日2ドル以下の生活を余儀なくされている状況。
- エジプトの近年の財政事情や外貨収入構造（石油輸出、観光、海外労働者送金、スエズ運河収入が中心）の国際経済や地域紛争等に対する脆弱性を考慮すると、経済の持続的成長・安定やMDGs（貧困削減、教育、ジェンダー・エンパワーメント、環境等）を完全に達成できるかは確かではなく、国際社会が協調して援助の増強を図ることが重要。

エジプトの開発計画と開発上の主要課題

<p>社会経済開発長期ビジョン (2002/03～21/22年)</p>	<p>第5次5カ年計画 (2002/03～06/07年)</p>	<p>現内閣の10大プログラム (2004年12月発表)</p>	<p>開発上の主要課題</p>	<p>【参考】改訂国別援助計画 (第二次案) 重点課題別援助方針</p>
<p>目標</p> <p>①天然資源の保存と砂漠地の開発</p> <p>②人口成長率の引き下げ(現在の2%を計画終了時に1%にする)</p> <p>③高率の持続的成長(年間6-8%の成長率を維持)</p> <p>④国際収支の均衡化(輸出の9-12%成長、輸入の5-7%成長等)</p> <p>⑤貧困削減及び所得分配の公平化(貧困人口割合を現在の21%から18%にする等)</p> <p>⑥人的資本開発と雇用増加(失業率を3-5%へ)</p> <p>⑦社会サービスの向上(教育、保健・医療、社会保険・年金、女性・母性保護、小児保健医療など)</p>	<p>目標</p> <p>①年間75万人の雇用創出</p> <p>②平均で年率6.2%の成長</p> <p>③低所得層に特別に配慮した国民の生活改善および社会サービス(教育、保健、住宅、水、衛生等)への予算割り当て増加</p> <p>④貯蓄率引き上げ(対GDP比16.9%を19.8%へ)</p> <p>⑤投資率引き上げ(同10.4%を17.3%へ)</p> <p>⑥リソースギャップ縮小(同6.5%を2.5%へ)</p> <p>⑦貿易収支の赤字縮小(89億ドルを80億ドルへ)</p> <p>⑧経常収支の赤字を黒字に転換(18億ドルの赤字を9億8,000万ドルの黒字へ)</p>	<p>①投資・雇用</p> <p>②補助金・価格・市場の監視</p> <p>③国民に必要なサービスの発展</p> <p>④経済パフォーマンスの発展</p> <p>⑤教育・科学的研究の発展</p> <p>⑥保健サービスの発展と人口増加の抑制</p> <p>⑦行政機構の発展</p> <p>⑧天然資源の保存</p> <p>⑨政治・立法環境の発展</p> <p>⑩知識社会の建設</p>	<p>①都市・農村地域の拡大(空間的拡張)</p> <p>②グローバル化・地域経済統合への対応</p> <p>③市場経済化と競争力のある産業育成</p> <p>④雇用促進</p> <p>⑤農業の生産性向上と食糧自給率改善</p> <p>⑥経済の牽引力たる観光部門の開発</p> <p>⑦基本的公共サービスの充実</p> <p>⑧環境保全</p> <p>⑨中小・零細企業の奨励</p> <p>⑩MDGsの達成</p>	<p>目指すべき方向： <u>競争力のある安定した経済社会への移行</u></p> <p>①<u>持続的成長と雇用創出の実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資・ビジネス環境の整備 ・輸出振興・国内産業の育成 ・技能労働者の育成 ・観光の振興 ・環境の改善 <p>②<u>貧困削減・生活の質の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療・基礎教育の充実 ・社会基盤整備 ・農業生産の拡大 ・社会福祉の向上 <p>③<u>地域安定化の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラブ諸国の人材育成 ・サブサハラ諸国の人材育成

エジプト国別援助計画の目標体系図(第3案)



重点分野・課題の比較

エジプト国別援助計画(2000年)
1. 経済・社会基盤の整備、産業の振興 <ul style="list-style-type: none">・ インフラ整備、インフラ整備への民活導入・ 産業育成・輸出振興を通じた貿易・投資拡大・ 観光振興・ (新しい情報通信技術の利用の可能性を検討)
2. 貧困対策 <ul style="list-style-type: none">(1) 農業生産の拡大<ul style="list-style-type: none">・ 農業基盤整備、食糧増産・ 農村開発、農業生産技術の向上、農産加工物・流通の改善・ 水産業の振興(2) 保健・医療の充実、社会福祉の向上<ul style="list-style-type: none">・ PHCにおける保健・医療サービスの質の向上・ 小児医療、看護婦育成・ 環境保健、保健・医療システムの改善、社会福祉の向上
3. 人材育成、教育の充実 <ul style="list-style-type: none">・ 基礎教育・人材育成分野の底上げ(教育の再訓練)・ 組織のスリム化、公務員の質向上
4. 環境の保全、生活環境の向上 <ul style="list-style-type: none">・ 安全な飲料水の安定供給など
5. 三角協力(南南協力)の推進 <ul style="list-style-type: none">・ サブサハラ・アフリカ諸国向け・ パレスチナ向け



改訂国別援助計画(第二次案)
<競争力のある安定した経済社会への移行>
<u>目指すべき方向:</u> <u>競争力のある安定した経済社会への移行</u>
1. 持続的成長と雇用創出の実現 <ul style="list-style-type: none">・ 投資・ビジネス環境の整備・ 輸出振興・国内産業の育成・ 技能労働者の育成・ 観光の振興・ 環境の改善
2. 貧困削減・生活の質の向上 <ul style="list-style-type: none">・ 保健医療・基礎教育の充実・ 社会基盤整備・ 農業生産の拡大・ 社会福祉の向上
3. 地域安定化の促進 <ul style="list-style-type: none">・ アラブ諸国の人材育成・ サブサハラ諸国の人材育成